

平成18年度市長と自治会長のまちづくり懇談会

日時 平成18年10月21日(日)9:30~12:00

場所 ちはら台支所会議室

議事録

1. 開会

(1)小池連合会長挨拶

- ・社会福祉の推進活動は町会が主体となることが大事。
- ・町会の役割は防犯、防災、福祉、地域環境整備において重要である。
- ・防犯 - 地域の安全が確保されなくてはならないこと。
- ・防災 - 自治会活動が活発だと被害が最小限に抑えられることに繋がる。
- ・福祉 - 今一番問題となっている。子供たちの問題等。
- ・まず地域コミュニティが確立される、土壌作りをすることが大事であり、その上で、防犯、防災、福祉・地域環境整備全てに繋がっていくと考える。
- ・市原市の10地区長を集めて、福祉ネットワークの設立を喚起したところ、ちはら台が第一に設立をしてくれた。
- ・今回はいろいろな議題が用意されているが、道先をはっきりさせることが特徴。市長以下30名の方々が出席していただいている。実のある会としたい。

(2)園田地区会長挨拶

- ・地域の活動について自主努力でやろうとしているが、金銭面等の難しいところあり。
- ・本日議題をいくつか用意しているが、ちはら台は平成25年には3万人を超える街となることが見込まれていることから、前向きに検討してほしい。

(3)来賓ならびに市長・職員紹介

2. 市長との懇談

(1)佐久間市長の挨拶並びに市政報告

- ・地方自治のトップという地位にいるが、任期中(~19年6月)にどれだけのことができるかを考えている。
- ・市会議員3期、県会議員3期、市長3年4ヶ月務めている。
- ・市会議員の時には、具体的にこうあるべきという市政へのビジョンを持つようになった。
- ・市議会議員を落選し4年の下積みの時代は大変なものであったが、政治家として貴重な時間を過ごすことができたと思う。
- ・ちはら台は千葉市と隣接し、他市との比較を常に意識した活動がなされる。そういった皆さんからのたくさんの意見を聞く機会があり、市原市としてもどれだけことが実現できるかというも課題である。
- ・限られた税収により市政を行っているが、市の職員が後ろ指を差されるようなことは絶対あってはならないと思っている。
- ・市原市は8年連続税収が減少するという中、どれだけのことに応えられるか?
- ・隣国中国においては、輸入国から輸出国へと移り変わっており、富裕者も増加している。

そのような中、日本国において、また市原市において地域の皆さんと作り上げ、将来へと繋げていかななくてはならないと考え、常日頃市政というものに取り組んでいる。

- ・子供の教育を最優先に考えている。一クラス 36 人のきめ細かい教育実現に向けて、環境整備を進めていく。実際に学童の増加に対し教師の補充を行った。
- ・学童保育も充実させなければならないが、子供にかかわるものでも問題はたくさんある。
- ・よい子供、孫が育つことは、明るい将来を築くことに繋がる。
- ・過去、市原市は千葉県一犯罪が多かった。八幡、五井、姉崎等の臨海部だけでなく、内陸部も犯罪が多かった。
- ・防犯活動は警察だけでは足りない。地域住民と協力し合って解決していかななくてはならない。そのお陰で犯罪件数は半減した。
- ・行政は最大のサービス産業である、納税者はお客様だと考えており、意識改革を進めている。
- ・ある程度将来を見据えられる期間として 10 ヶ年計画を策定した。責任ある活動として 101 項目にいたる数値目標を掲げている。毎日を真剣勝負で全員一丸となって市民の期待に応えたい。
- ・真剣勝負ばかりではおもしろくないので、コンサート等の開催など、心豊かな地域づくりをしていきたい。
- ・税収を補うべく、市原市の優位性を利用したい。臨海部には大手企業 30 社が参入しており、それを取り巻く中小企業がある。内陸部には広大な用地が残されており、企業が操業しやすい環境をつくっている。企業誘致基準の見直し、許認可の早期回答など。
- ・都市間競争は厳しい。工場地帯は全国にある。
- ・市原市では 250 億円を超えるハードディスク工場が完成した。150 人以上の雇用が見込める。ほかに 230 億円のプラント建設、100 億円のリニューアルプラントもやっている。市原市のこうした取り組みを都市部にも徐々に浸透しつつある。
- ・こうした活動もあり、18 年度は税収がプラスに転じた。
- ・今後とも地域のために皆様の力添えをお願いしたい。
- ・ちはら台においては、若い人口増が顕著な地域。学校建設、大型ショッピングセンターの建設、病院等の問題あるが、地域の皆様と一緒に解決を図っていきたい。

(2) 市長等への質問・要望

ちはら台の今後の街づくり (35,000 人に必要な公共施設用地の確保などの再検討について
< 前田会長より >

まず認識してもらいたいことがある。

本会については年に一度の公式行事であり、きちっと受け止めて欲しい。

自治会というポジションを有効に利用してほしい。

自治会でうまくやってくださいではダメ、自治会を脱退している人もいる。しっかり自治会員を固めて欲しい。

- ・行政サイドと自治会との温度差がある。ちはら台の理解が足りない。よく認識してもらいたい。
- ・34 千人 ~ 35 千人の街になると予測されている中、戸建用地、商業用地が残っている。売却されて公共用地がないという事態だけは避けたい。
- ・行政サイドに全てまかせるつもりはない。街は共につくるもの。

(質問書のとおり)

<植草教育部長より>

- ・学校建設については大変経費のかかる問題である。順番として通学区域見直し 学校増設 学校新築で解決にあたりたい。本年度中に建設計画を示すようにしたい。

<星野保健福祉部長より>

- ・保健センターについて、現在市原市を4つのゾーンに区分けして検討しているが、南部地区には保健センターがないため、南部地区優先で考えたい。
- ・2箇所保育所用地があるが、近隣にある老朽化した市津保育所の改築と併せて検討。
- ・救急センターが市原市にない。現在設置を要望中。医師会、自治会共々早急な検討が必要。

<長野市民生活部長より>

- ・駅前駐輪場は契約終了前に用地取得予定。造成計画なし。
- ・交番は圏内に一箇所という厳しい状況、設置は難しい。
- ・コミュニティーセンター駐車場の問題は、他の公的機関の用地借り上げ等、身近にあるスペースの有効活用を図る。

<経済部より>

- ・大型SCについては10月16日に県が受理してからスタートする。行政が住民の声を集める機会があり、問題はその時提起してもらいたい。もちろん関連各部には情報提供はしてある。

<遠山企画部長より>

- ・コミュニティーバスについては早速、検討委員会、研究会等に参加したい。
- ・ちはら台駅のバリアフリー化については、京成側に要請していく。

<前田会長より>

- ・スピードがない、結論を早くだして欲しい。
- ・途中経過も報告してほしい、理解を得られるような努力をしてほしい。
- ・プレハブで学校をやることになると、市長の言う教育第一優先は成り立たない。

<花澤会長より>

- ・学校建設は国の補助等含めれば10億円程度でできるのでは。具体的に検討し示してもらいたい。

<前田会長より>

- ・学校建設には4,5年かかる。真剣に検討してほしい。何よりも優先。

<小池連合会長より>

- ・以前社会福祉協議会の建物老朽化から、市民会館3階の使用を要望したが、市からの回答がなかった。会話のキャッチボールができない。

<園田地区会長>

- ・駐輪場の位置を考えてもらいたい。現在バイクが遊歩道を通っているという問題がある。

<前田会長より>

- ・お金の問題が必ずかかわっているが、昨年もPFIで検討するといった話もあったが、その後の報告がなにもない。是非一緒になって会話のキャッチボールをしてもらいたい。

公園管理運営を地区自治会へ委託について

< 園田会長より >

- ・公園管理を自治会に委託してほしい。

< 河野都市整備部長 >

- ・公の施設の管理を民間のノウハウを活用して、市民サービスの向上と、コスト削減の観点より指定管理制度を導入した。養老川を境に、姉ヶ崎側と八幡側を二分割で指定管理者に委託している。
- ・コスト削減から二分割とした経緯あり。しかしながら公園サービス向上、コスト削減も併せ見ながら、次回指定管理者更新時までには検討したい。

< 花沢会長より >

- ・コスト削減で二分割を決められたのでは困る。是非再分割を検討してもらいたい。

< 市長より >

- ・地域に愛される公園のあり方を考えたい。今しばらく時間を頂きたい。

町会管理の防犯街灯の修繕費用の補助について

< 黒田会長より >

- ・防犯街灯の設置間隔が広い。現場を見て見直しをしてほしい。
- ・防犯街灯の補助金交付規制を見直してほしい。

< 長野市民生活部長 >

- ・防犯街灯の設置間隔の件については、18年度までは都市再生機構であったが、19年度以降は市の設置規定となる。補助採択の基準を利用してもらいたい。
- ・市原市は広域であり、未設置の場所もあり、防犯の意識高まりから、年々設置要望増加。補助金交付規制については、限られた財源の中では当面現行どおりとしたい。

< 市長より >

- ・市所長通じて、現地確認し対応していきたい。

広報「いちはら」の配布を自治会に委任して貰いたい事

< 前田会長より >

- ・広報に限らず、自治会と一体となった活動をしてほしいというのが主旨。自治会離れを防ぐ目的。

< 企画部長より >

- ・貴重な意見として検討したい。

< 花澤会長より >

- ・自治会加入率70%であり低い。よく考えてもらいたい。

< 連合会長 >

- ・行政と自治会のかかわりを密にしていくことで加入率改善につなげたい。

(3)市長との意見交換

防犯活動について

< 前田会長より >

- ・パトロール車のコスト負担の補助をしてもらいたい。
- ・ちはら台は犯罪少ない。死守したい。
- ・おゆみ野の治安の悪さをちはら台へ波及させたくない。
- ・大型SCオープンをきっかけに犯罪が増加しないようにしたい。

<市長より>

- ・パトロール車のコスト負担の補助はすぐに回答できない。
- ・悪いやつは絶対にこの地域に入れないというバリアーを張る必要あり。
- ・防犯カメラは12月に設置する。
- ・スクールガードについて、PTAや、地域自治会の人たちが自分たちの子供は自分たちで守るという活動は大事である。
- ・学校へのケーブルT 普及は検討したい。

ドックランの進捗状況

<園田会長より>

- ・会員60名程度でスタート、現在募金活動中、市の方でも是非募金活動に協力してほしい。

<市長より>

- ・飼い犬は飼い主に似る。吠えたりしないにこやかな犬が増えるといいですね。

遊休地の有効運用

<園田会長より>

- ・市所有地の有効利用について、自治会にて活用も可能なので払い下げを望む。

<土木部星野より>

- ・有効利用の提案があれば、市としても協力したいと考えている。

<花澤会長より>

- ・水之江公園に駐車場ない。公園の駐車場設置の基準についてはスポーツ施設があると設定できるなど、公園によって駐車場の有無にばらつきがある。
- ・水之江公園は遊具が充実しており、近隣から人が集まる。是非、駐車場設置すべく知恵を拝借できないか。

<市長より>

- ・公園の一部を整備して駐車場を作ることは検討できるのではないか。

<統括として市長より>

- ・今回、また以前から問題提起されたものについては全部やればがいいが、現状では許されない状況。
- ・この地でよりよい人生を歩むため、環境づくりは大切であり、あきらめずに訴え続けてほしい。
- ・皆さんからの要望、質問いただいたことが伝わっていないということはできる限り排除したい。
- ・市と自治会の意見交換をよりよくできるようにしていきたい。
- ・税収増という目的から企業誘致を行っているが、他の都市に負けないように、市原市の可能性を見出し、観光化にも努めていきたい。
- ・いずれ若い街から古い街へと移り変わっていく。その推移をしっかり見守り、生きていきたいと考えている。